

# 第8期 株主通信

2022年1月1日~12月31日

BUSINESS REPORT



 日本創発グループ  
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

## 目次

P3 ..... 株主のみなさまへ

P4 ..... 今期の事業概要

P6 ..... 事業戦略

P8 ..... 新規グループ参画会社紹介

P10 ..... 連結業績ハイライト

P12 ..... 連結財務諸表

P14 ..... 会社情報/株主メモ

## お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社日本創発グループ第8期(2022年1月1日~2022年12月31日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度では、新型コロナウイルスオミクロン変異株の感染拡大により感染者数が増加し、個人の消費行動は停滞が続きました。また、急激な円安進行により金融市場は大きく変動するなど世界的なインフレの消費への影響が懸念されており、経済状況は不安定で、原材料価格、物流価格は上昇の傾向にありました。一方で、感染症拡大防止への取り組みやオミクロン株対応ワクチンの接種も進み、イベントの開催が再開されるなど、企業活動は回復しつつあり、コロナ禍での新しい社会生活に即したサービスや販促ツールなどの需要が増加いたしました。当社企業グループは、お客さまに、より付加価値の高いサービスを提供するため、将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・制作から配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果により、当連結会計年度の業績は、売上高644億16百万円(前期比17.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は20億3百万円(前期比110.5%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく、一段と努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2023年3月

代表取締役社長 藤田 一郎

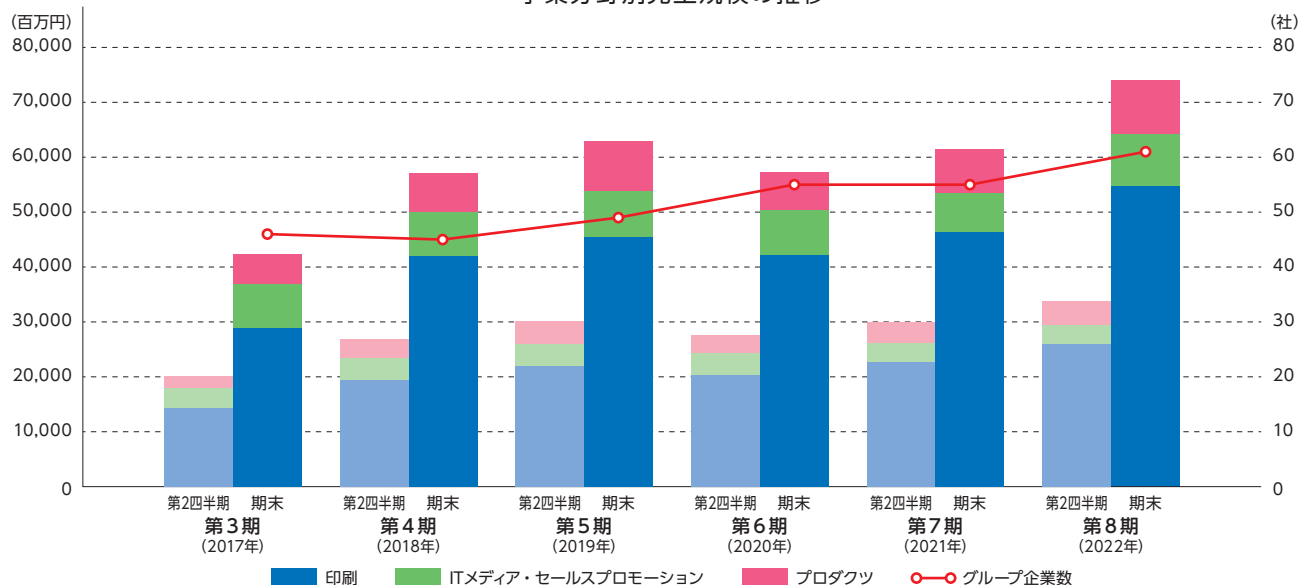
# 今期の事業概要

## 社会の変化に応じた、新しい付加価値の提供

この数年は新型コロナウイルス拡大により、経済的・社会的に不安定な状況が続いていました。しかし、ワクチン接種やマスク着用などの予防策が浸透し、各種イベントの開催や、全国旅行支援が再開されるなど、人の往来も戻りつつあり、経済状況も回復の兆しが見えてきました。そのような中、当社の事業は、印刷物やイベント什器、IPを活用したグッズの製造に加え、ITソリューションも活用したセールスプロモーションのご要望にお応えすることで、売上高、利益とも順順に回復し、過去最高の結果を残すことができました。当社企業グループの強みである印刷関連事業と、プロダクツ製造事業、さらに多様化したメディアに対応するIT

メディア・セールスプロモーション事業が協業を進めることで、企画提案から製造制作、メディアによる広告配信、効果測定、運用改善コンサルティングまで、ワンストップかつトータルでサポートできるようになりました。売上規模の多くを占める印刷関連事業は、経済活動の復調に伴って少しずつコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。印刷関連マーケットの規模は、年々減少傾向にありますが、付加価値の高い印刷技術を活用した印刷物の需要は安定しています。株式会社funboxが提供するガチャガチャ(カプセルトイ)や、新日本工芸株式会社が製造する縁起物についても、人流とともに、需要が回復してまいりました。

事業分野別売上規模の推移



※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

## モノづくりからブランドクリエイションまでのワンストップサービス

2022年1月には兵庫県西宮市の総合印刷会社である株式会社小西印刷所を、4月にはクリエイティブ制作を行う株式会社ダイヤモンドヘッドとモデルマネジメント・イベントの企画運営を行う株式会社パークインスタイルを、7月には株式会社ワン・パブリッシングの出資比率を高め連結子会社としました。さらに、12月には奈良県生駒市の大光宣伝株式会社およびその関連会社2社と、ジャパンロードキャストソリューションズ株式会社の出資比率を高め連結子会社といたしました。

当社企業グループの連結子会社は36社となり、グループの強みであるモノづくりをさらに加速させ、印刷・WEB・プロダクツ

など、幅広いクリエイティブコンテンツを製造・制作しています。さらにはイベントの企画からSNS・WEB・インフルエンサーを活用したオンラインプロモーション、紙、デジタルの出版物までさまざまなメディアを組み合わせたプロモーションをご提供しています。

グループ企業が協力し、それぞれのソリューションを提供することで、コーポレートブランディングからプロダクトブランディング、そして、プロモーション企画から販促物の製造・制作、さらにはその配信、運営管理まで、すべての工程をワンストップでご提供することができる、ユニークな日本創発グループの力をさらに強化してまいります。

### グループ協業事例

日経印刷株式会社

FIVESTAR  
INTERACTIVE  
\*\*\*\*\*

GI  
Lithmatic

MD  
MARKETING DIRECTIONS  
Playce

SEIO  
PRINTING CO., LTD.

GI BARK IN STYLE



建設会社様からの会社案内を作りたいというご相談に端を発した案件。マーケティングを専門とする会社から、デザイン・WEB・ライティング・撮影まで専門性の高いグループ6社が携わり、CI・VI開発、サイトリニューアルと冊子制作にいたるまでのプロジェクトを手掛けました。



理容美容専門学校様の学校案内で、ファッション性の高い生徒のみなさんの要望にお応えするため、モデルを有する当グループのキャスティングと撮影テクニック、さらにグラフィック制作と校正、印刷までをグループ内で手掛けることでスタイリッシュな冊子が仕上がりました。



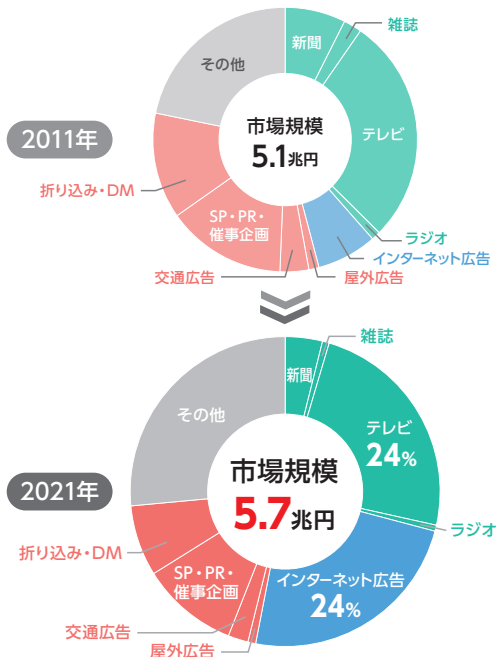
## サステナブルな成長に向けて

日本創発グループは2015年1月5日に設立されました。2025年の10周年に向けて2023年は当社企業グループにとって永続的な成長を加速させるためにも大切な年であると考えています。

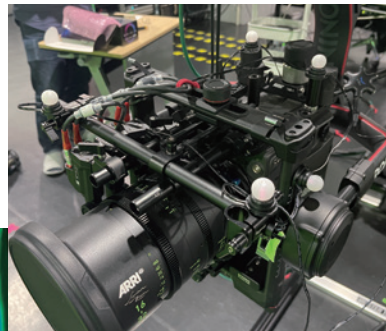
コロナ禍においてITデバイスの利用が促進されたこともあり、広告宣伝費の中で、TV等のマスメディア媒体に比較して、SNSやWEB媒体の広告費用が年々増加傾向にあります。当社企業グループにおいても、プロモーションツールとしてITメディアを活用されたいお客さまからのご要望が増えています。東京都港区にあるXR制作空間「SHIBA studio」は、映画・ドラマの撮影や、

プロフェッショナルアーティストのプロモーションビデオ撮影にも対応できる機材を設備しており、幅広い用途でクライアントさまにご活用いただいています。リアルイベントが増えつつありますが、ITメディア分野のさらなる成長が期待されています。

当社企業グループは、専門性の高いグループ企業が協力連携し、お客さまがクリエイティブを表現するために必要である多様なソリューションをワンストップで提供することができます。M&Aによる事業の譲り受けも含め、事業分野、事業規模、事業地域を拡大させ、企業間の連携を強化することで、新たな付加価値の創造を実現させてまいります。



出典：経済産業省 特定サービス産業動態統計調査(2022年)



SHIBA studioは、世界標準クラスのシステムを完備したグリーンバックスタジオです。リアルタイム合成で映画やCMのクオリティが提供可能です。

## 日本創発グループのSDGsへの取り組み

高騰する水道光熱費や、原材料調達コストの上昇への対応は、当社企業グループにおいてとても重要な課題です。グループ各社において環境負荷の軽減にもつなげられるように独自の取り組みを開始しております。

印刷関連事業およびプロダクツ関連事業においては、2021年より製造に関するCO<sub>2</sub>排出量を継続して記録してまいりました。2022年日本創発グループにおけるCO<sub>2</sub>排出量は、2021年に比較して19.3%増加しました。2022年において、岡山市の研精堂印刷株式会社では、これまで2か所に分散していた工場を新工場1か所に集約しました。新工場の稼働により電気や運搬にかかる排出などを削減させることを実現しましたが、工場新設に伴う資本財の購入や、廃棄などに関するScope3の一時的な増加が認められました。そのような一時的な増加を除くグループ全体の

排出量の増加率は13.9%となり、売上の増加率17.9%を下回ることができました。

また、電気やガスの購入に関連する間接的な排出量を含むScope2については、1.5%の増加にとどまりました。環境負荷を軽減する取り組みの結果、原価率削減にもつながる事例は、グループ各社にて共有を進めています。SDGsは、子どもたちが未来を生きるためにも現代で達成すべき課題です。2030年に向けて特定の企業だけが達成すれば良いという考え方では解決できません。当社企業グループでは、「多様性の価値を創造する」「想いを込め、つくる責任を果たす」「公平で平等なダイバーシティの中で新しい価値を生む」をSDGsポリシーに掲げ、グループ全体、そしてお客さまと共に持続可能な社会を実現できるよう努めてまいります。

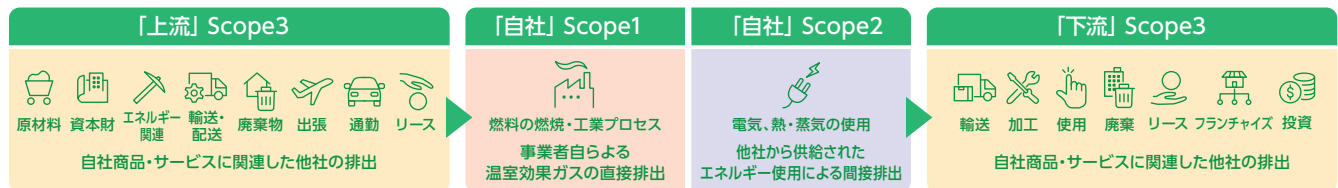
	Scope1	Scope2	Scope3	2022年1-12月 合計 (t-CO <sub>2</sub> )	前年同期比	前年同期 合計 (t-CO <sub>2</sub> )
2022年度 総合計※	7,006	23,628	193,241	223,875	119%	187,697

※日本創発グループ 印刷事業・プロダクツ事業 16社

- Scope1** 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2** 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3** 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

新工場、機械の更新により、Scope3は一時的に上昇  
売上増とともに、Scope2 排出量増 Scope1 排出量微減

温室効果ガス排出量の算出にはScope1~3の範囲が存在します。



# 新規グループ参画会社紹介



2022年12月連結



## 大光宣伝株式会社

交通広告・屋外広告の企画制作

奈良県生駒市元町1丁目6-12 生駒セイセイビル 5F

<http://www.daikosenden.com>

連結子会社 議決権比率:100%

大光宣伝は、1939年の創業以来80余年にわたり、トータルセールスプロモーションの専門会社として屋外広告・交通広告を中心に、企画・開発から制作・保守管理まで、独自のノウハウと実績を築いてきました。奈良県生駒市に本社・大阪市に支店を置き、関西地区で展開する企業、学校法人・病院クリニックなどのお客さまの広告

ニーズにお応えしています。

メディアが多様化しており、時流に合致したお客さまのニーズに的確にお応えするため、広告活動を集客とブランド構築の2点に絞り込み、ブランディングデザインを各種コンテンツに効率的かつ総合的に配分することで、費用対効果の高い提案を行っています。



2023年3月持分法



## 株式会社バックストリート

映像・イベント・音楽・グラフィックのプロデュース

東京都渋谷区神宮前1-20-13 ノーサレンダービル3F

<https://www.backstreets.jp/>

持分法適用関連会社 議決権比率:47.83%

バックストリートは、映像・音楽・グラフィックの制作とイベントの企画運営を行っています。常に新しいサービスや高い品質、安心感などを提供することを心がけており、多様なニーズに柔軟にお応えしながらクライアントと一体となり企画のプロデュースをすることで、お客さまに満足と

ご納得をいただけるサービスを展開しています。

特に、幼児・児童向けの教育用映像・WEBメディアの企画制作関連事業に関して精通した企業であり、今後のメディア拡大とともに、事業の成長が期待される企業です。





## DIAMOND HEADS

クリエイティブ制作

1982年に創業した当社は、広告やWEB制作を中心としたクリエイティブデザインを行なっています。日本創発グループの考える「ものづくり」への想いと、当社が築いて

きた実績と想いが共鳴し、2022年4月より日本創発グループの連結子会社になりました。

ここ数年、デジタルマーケティング技術の進歩によって誰もが手軽にクリエイティブに関われるようになりました。しかし、私たちが掲げる『そのクリエイティブは、心を動かすか。』の視点から考えると、世の中には心を動かすクリエイティブは少ないのが現状です。顧客の想いを形にするためにも、クリエイターの力は欠かせません。日本創発グループの持つソリューションと当社のクリエイティブを融合し、さらなるシナジー効果を発揮していきたいと考えています。



## ONE PUBLISHING

書籍出版・WEBメディア  
コンテンツマーケティング

当社は株式会社学研プラスと株式会社日本創発グループの共同出資会社として2020年7月に設立され、2022年7月より日本創発グループの連結子会社となりました。前身は

学研のメディアビジネス部門。GetNavi、TV LIFE、ムーなどの雑誌事業を承継、それらのIPとともに事業展開の多角化を推進しています。今期は前期と比較し、増収増益で推移しています。特にソリューション事業においては、多くのクライアントに恵まれ、売上を伸ばしています。引き続きグループシナジーを活かし、ソリューション事業をさらに成長させていきます。社内異動・グループ内からの出向・中途採用などによりリソースを厚くすることで営業とクリエイティブ両面の体制を強化し、クライアントのニーズに対処していきます。



## BARK IN STYLE

モデルマネジメント・  
イベント企画運営

2022年4月より日本創発グループの連結子会社になりました。モデルエージェントとしてテレビや雑誌、WEBなど国内外で活躍する130名ほどのモデルが所属しています。

2008年にメンズモデルをメインとした事務所として創立し、現在までに数多くのトップモデルを輩出してきました。

当社は、ファッション領域だけに留まらず『人が映る媒体は全てクライアント』との考えから、モデルたちは幅広いジャンルで活躍しています。今期はプランニングラボDIVを立ち上げ、企画のご提案から制作までワンストップでご提案できるようになりました。社内に撮影スタジオを設置し、モデル事務所自ら仕事を生み出しています。今後もこのプランニングラボを中心に、新たな価値を創造しながらグループの強みを活かした連携をはかっていきます。



## Funbox

ガチャ、ファンシーグッズ  
企画製造販売

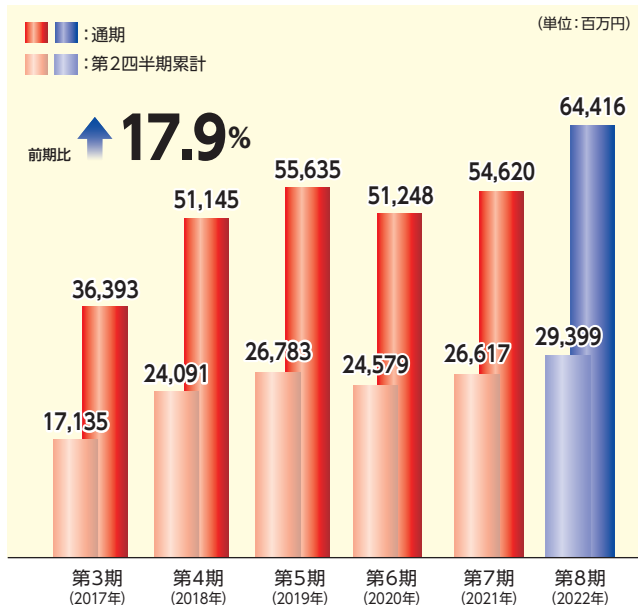
2022年4月より、筆記具開発を行う株式会社サカモトと、販促用カプセルマシンの企画・販促を行う株式会社あみューズが合併し、株式会社funboxが生まれました。

「笑顔が生まれるモノづくり」をミッションに、両社のアイデアと実績を活かした新たな商材や企画をすすめています。

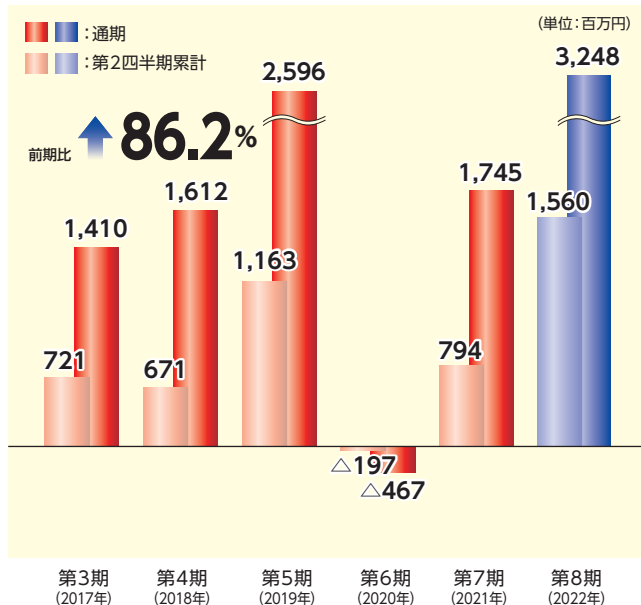
合併後は、グループ内での営業・生産部門で協業体制の強化、また製造に関しても、愛知県刈谷市の工場と同グループ企業でもある株式会社アプライズ（浜松市）と連携した2拠点体制が実現できました。コロナ禍によってイベントや販促物ニーズは一時的に落ち込んでいましたが、現在は新しい事業環境への対応により、コロナ前と同等の売上にまで回復しました。今後、さらなる高みを目指し、採用強化と安定した製品供給体制を整え、事業を加速させてまいります。

# 連結業績ハイライト

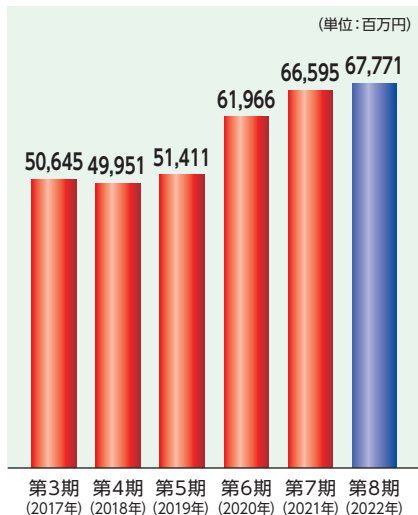
## ◆ 売上高



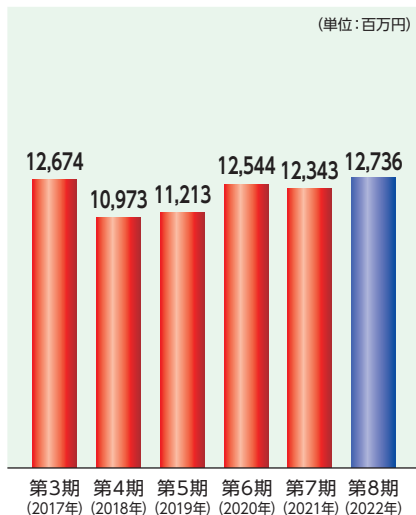
## ◆ 営業利益



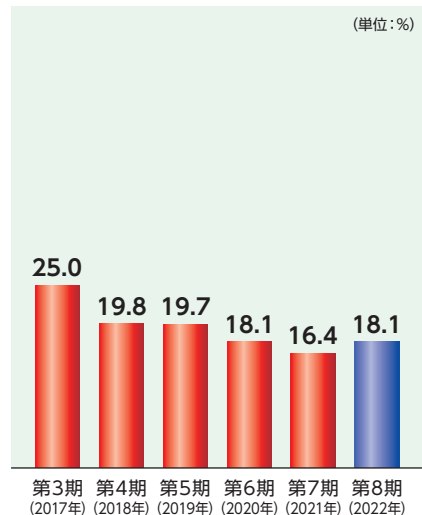
## ◆ 総資産



## ◆ 純資産

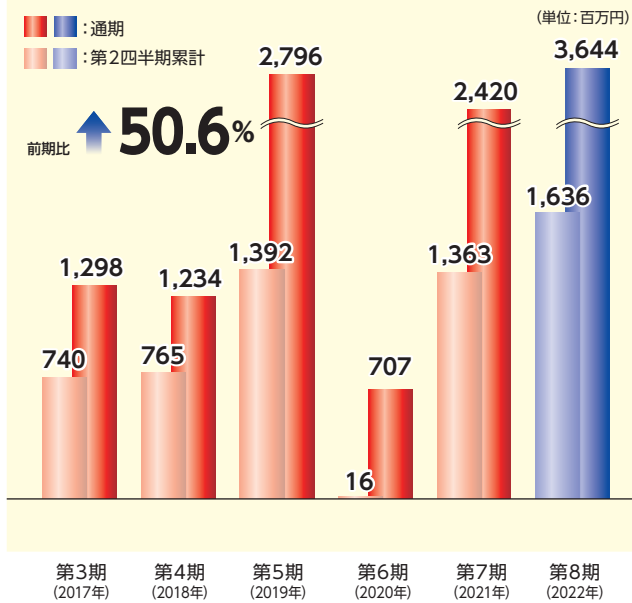


## ◆ 自己資本比率

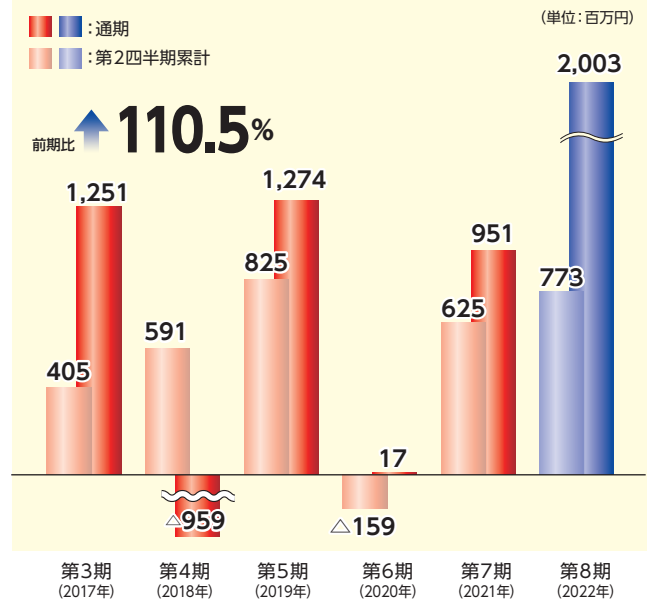


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

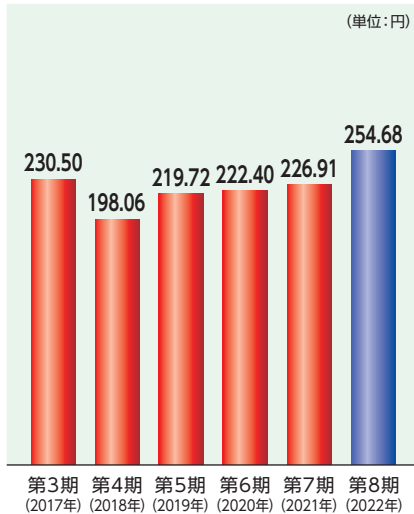
◆ 経常利益



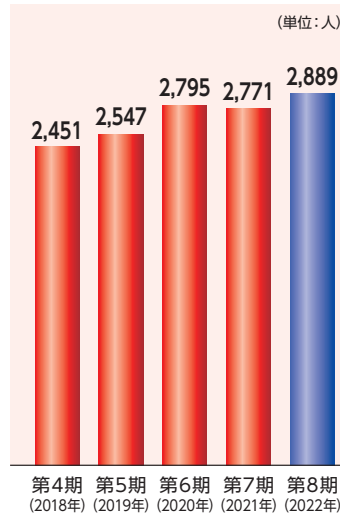
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



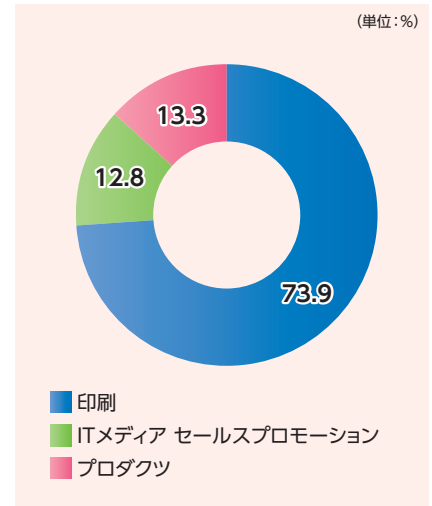
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、第1期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

# 連結財務諸表

## ◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期		科目	前 期		当 期	
	2021年12月31日現在		2022年12月31日現在			2021年12月31日現在		2022年12月31日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	28,375	29,953	流動負債	39,877	41,360				
現金及び預金	12,231	10,400	買掛金	3,825	5,032				
受取手形及び売掛金	10,328	12,867	短期借入金	27,000	27,000				
短期貸付金	1,062	174	その他	9,052	9,327				
その他	4,753	6,510	固定負債	14,374	13,675				
固定資産	38,220	37,818	長期借入金	11,250	10,650				
有形固定資産	25,035	25,479	退職給付に係る負債	1,235	134				
建物及び構築物	6,341	7,729	その他	1,888	2,891				
機械装置及び運搬具	2,257	2,671	負債合計	54,251	55,035				
土地	14,583	14,773	(純資産の部)						
その他	1,853	304	株主資本	10,803	12,153				
無形固定資産	961	1,420	資本金	400	400				
のれん	127	201	資本剰余金	5,530	5,461				
その他	833	1,218	利益剰余金	6,725	8,144				
投資その他の資産	12,224	10,918	自己株式	△1,852	△1,852				
投資有価証券	4,588	4,948	その他の包括利益	143	133				
その他	7,635	5,970	累計額合計						
資産合計	66,595	67,771	非支配株主持分	1,397	449				
			純資産合計	12,343	12,736				
			負債及び純資産合計	66,595	67,771				

## ◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2022年1月1日から 2022年12月31日まで
売上高	54,620	64,416
売上原価	39,576	46,424
売上総利益	15,044	17,992
販売費及び一般管理費	13,299	14,743
営業利益	1,745	3,248
営業外収益	1,355	999
営業外費用	680	603
経常利益	2,420	3,644
特別利益	287	901
特別損益	801	1,189
税金等調整前当期純利益	1,906	3,357
法人税等	887	1,314
非支配株主に帰属する当期純利益	66	38
親会社株主に帰属する当期純利益	951	2,003

## ◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2022年1月1日から 2022年12月31日まで
当期純利益	1,018	2,042
その他有価証券評価差額金	80	△ 6
繰延ヘッジ損益	0	△ 1
退職給付に係る調整額	△ 2	△ 14
その他	△ 4	8
その他の包括利益合計	73	△ 13
包括利益	1,092	2,029

## ◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2022年1月1日から 2022年12月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー	4,674	2,238
投資活動によるキャッシュフロー	△ 8,420	△ 203
財務活動によるキャッシュフロー	1,489	△ 3,901
為替換算差額	△ 0	3
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,257	△ 1,861
現金及び現金同等物の期首残高	14,474	12,217
現金及び現金同等物の期末残高	12,217	10,355

## ◆ 連結株主資本等変動計算書 (2022年1月1日から2022年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剰 余 金	利 剰 余 金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	5,530	6,725	△ 1,852	10,803	132	△ 3	14	143	1,397	12,343
会計方針の変更による累積的影響額			△ 38		△ 38						△ 38
会計方針の変更を反映した当期首残高	400	5,530	6,687	△ 1,852	10,765	132	△ 3	14	143	1,397	12,305
当期変動額											
剰余金の配当			△ 530		△ 530						△ 530
親会社株主に帰属する当期純利益			2,003		2,003						2,003
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
持分法の適用範囲の変動			△ 16		△ 16						△ 16
連結子会社株式の取得による持分の増減		△ 61			△ 61						△ 61
非支配株主との取引に係る		△ 7			△ 7						△ 7
親会社の持分変動											
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						5	△ 1	△ 14	△ 10	△ 947	△ 957
当期変動額合計	-	△ 68	1,456	△ 0	1,387	5	△ 1	△ 14	△ 10	△ 947	430
当期末残高	400	5,461	8,144	△ 1,852	12,153	137	△ 4	-	133	449	12,736



# 会社情報／株主メモ

## ■ 会社概要

商号 株式会社日本創発グループ  
英文商号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.  
事業内容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務  
設立年月日 2015年1月5日  
本社所在地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6  
資本金 400,000,000円  
決算期 12月31日  
会計監査人 PwCあらた有限責任監査法人  
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行  
連結従業員数 2,889名(2022.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。  
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

## ■ 株式情報

証券コード 7814  
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場  
発行可能株式総数 160,000,000株  
発行済株式総数 55,271,736株  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行  
決算期 12月31日  
定時株主総会 3月

## ■ 役員

代表取締役社長 藤田 一郎  
取締役 鈴木 隆一  
取締役 林 基史  
取締役 菊地 克二  
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)  
取締役 監査等委員 野沢 佳津夫(社外)  
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)  
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)  
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)  
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)  
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)  
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)

## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: <a href="http://www.jcpg.co.jp/">http://www.jcpg.co.jp/</a> ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



## ■ グループ中核概念

## Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

## Mission

ビジョンの実現に向けて、  
日本創発グループがなすべきこと

## Value

ビジョンとミッションの下、  
日本創発グループが  
お客さまや社会に提供する価値

## We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。  
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

**チームワーク** お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

**プロの真心と技** 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

**言い訳のない品質** 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

**プラスαの追求** 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

**我が事として** 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

**多様性の底力** 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

**新しいカタチ** 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

**良き市民** 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

## 表紙写真について

①		②	③
④			
⑤	⑥		⑦
		⑧	

- ①グループ各社の製品・商品が一覧できるショールームです。展示物の閲覧や、VRコンテンツの体験などができます。(日経印刷株式会社)
- ②スマートフォンやタブレットなど、マルチデバイス環境に対応したWEBサイトのデザイン・制作に対応します。(株式会社ロクナナ)
- ③キャッシュレス決済対応の「ピピットガチャ」をはじめとする、オリジナルのガチャマシン。物販、販促、イベントなどさまざまな場面で大活躍する万能選手です。(株式会社funbox)
- ④機材の販売・レンタルに加え、コンテンツ制作やLIVE中継・配信などのクリエイティブもサポート。映像・音響設備に関わる全てのニーズに応えます。(ジャパンブロードキャストソリューションズ株式会社)
- ⑤本社および工場を岡山市に構え、都内との緊密な連携で、幅広いお客さまからのご要望にお応えしています。(研精堂印刷株式会社)
- ⑥国内外のモデル、タレントなどが所属するマネジメントオフィス。ファッションを中心に、CMやショーなどグローバルに展開しています。(株式会社パーフインスタイル)
- ⑦ペットボトルキャップを再利用した、モノマテリアルの袋。エコキャップ運動を介して収集からも携わることが可能です。(株式会社リングストーン)
- ⑧「日本の文化財の保存技術」を体感できるメタバース空間「技バース」の一部。確かなコンテンツ表現力で、情報を正しく、魅力的に伝えています。(株式会社キヤドセンター)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。